

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2019年12月号(第133号)

発行責任者 佐藤 重松



2019. 11. 22

第13期定期総会

新所沢公民館ホール

写真撮影 / 中島 峯生氏



ところざわ倶楽部 第13期活動方針

何事も笑顔で楽しんで!! 毎日元気を更新!

第13期会長 佐藤 重松

人生90年とも100年とも言われる時代です。今期はそれに相応しいところざわ倶楽部のあり方、運営の仕方を模索し、無理なく、楽しく、一日でも長く、元気に活動して頂きたい思いを土台に、5項目の方針を掲げさせて頂き、定期総会に於いてご承認頂きました。

1. 全会員を繋ぐ事業計画は事業部が核となって、運営上の負担軽減を考慮し、会員の実行委員会参加方式ですすめて行きたいと思えます。
2. サークルの活発な交流や共催企画を更に多面的に進め、サークル間の垣根が低くなればと思えます。
3. 市民大学四半世紀の歴史に学び、次の四半世紀に向けて方向性を展望し、提言出来る環境づくりをして行きたいと思えます。
4. 会員の加齢に伴う現実を踏まえ、高齢者福祉(医療・介護・施設)の情報の共有化をすすめます。

5. 引き続き社会福祉協議会や包括支援センターとの連携で、身近な交流の場づくりを拡大します。

会員の皆様、13期の様々な活動に積極的にご参加下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、ところざわ倶楽部の方針ではありませんが、会員の皆様に以下のように呼びかけます。

“近年、日本社会の状況は「良」と言い難い事象が、あらゆる分野で噴出して居ります。「不都合な真実」や「不条理」を見過ごさない、許さない、正義の声、その意思表示が、現在(いま)求められている”ように思います。会員の皆様が主権者として、其々に「声」を上げていく年にしていければ、次世代に対して、ささやかに何かを残していけるのではないのでしょうか。

第 13 期定期総会報告 第 12 期総括、第 13 期活動方針を確認

総務部長 中原 幹男

11 月 22 日（金）新所沢公民館ホールにて定期総会を開催

第 13 期は、会員総数 265 名でスタート。出席者 93 名で議事が進められました。

第 12 期総括

佐藤会長より 12 期総括を報告しました。倶楽部全体の事業と各サークルの活発な活動、サークル同士のコラボ、地域貢献のボランティアなど、多彩な活動が展開され、高齢化がすすむ中で、素晴らしい「アクティブエイジング」集団として進化し続けた一年であり、事業全てにおいて予想を超える結果が得られました。

引き続き、中原総務部長、森野事業部長、玉上広報部長より各部活動を報告しました。

12 期退任理事・会計監査へ感謝の拍手が送られ、13 期の理事・会計監査候補が拍手でもって承認されました。

第 13 期活動方針

佐藤会長から 13 期の活動方針として、5 項目（1P 下段参照）を示しました。各部の方針は、第 13 期定期総会資料をご覧ください。

全体の活動方針(案)及び予算(案)につき満場一致で承認されました。



撮影/中島 峯生氏

総会終了後、「海洋プラスチック問題が私たちに及ぼす影響」をテーマに環境講演会が催されました。

第 13 期 新体制 皆さまのご支援をよろしくお願いします。

役職	氏名	推薦母体	役職	氏名	推薦母体
会長	佐藤 重松	理事会推薦	事業部担当理事	戸田 チイ子	野老澤の歴史
副会長兼広報部長	玉上 佳彦	理事会推薦	事業部担当理事	水上 俊彦	葵の会
副会長兼事業部長	森野 辰夫	理事会推薦	事業部担当理事	木下 みえこ	食トコ
副会長兼総務部長	中原 幹男	地球環境に学ぶ	事業部担当理事	内川 賢治	懐かしの映画
副会長	大木 美和子	ドラカン	事業部担当理事	豊島 由久	理事会推薦
広報部副部長	西郡 貢	理事会推薦	広報部担当理事	園田 ヒロ子	理事会推薦
総務部副部長	大西 優	地域デビュー支援	広報部担当理事	川上 紀春	生きいきシニア
総務部担当理事	岡崎 久子	理事会推薦	広報部担当理事	岩瀬 真弓	楽悠クラブ
総務部担当理事	石堂 智士	傍聴席	広報部担当理事	浪間 扶美子	理事会推薦
総務部担当理事	中村 昌彦	所沢の自然と農業	連絡窓口	加曾利 厚雄	脳活サークル
事業部担当理事	松尾 基昭	アジア研究会	会計監査	田村 健一郎	理事会推薦
事業部担当理事	仲山 富夫	理事会推薦	会計監査	遠山 とも子	理事会推薦
事業部担当理事	佐藤 美津子	民話の会			

退任理事・会計監査<お疲れさまでした>：加藤敏恭、方山みどり、松尾龍之、小野さとえ

事業部活動方針(第13期)

事業部長 森野 辰夫

1. 活動方針

前年同様、会員の皆さんが関心を持つテーマを取り上げ、多くの方々に参加して頂ける企画を進めてまいります。基本的には12期に開催したイベントを踏襲致します。シンポジウムにつきましては、各サークルの協力を得て、小規模な対話形式で、サークルの枠を超えた会員相互の意見交換の場を計画したいと考えております。各サークルの皆様、個人会員の皆様、関心のあるテーマがありましたらご提案願います。

2. 活動計画

イベント計画は下表の通りです。

開催予定時期	イベント概要	内 容
1月	新春の集い	新会員紹介、新旧会員懇談
2月	共催事業	朗読劇・線量計が鳴る。 出演：中村敦夫(有料)
4月	時局講演会	社会情勢に合ったテーマの講演
6, 7月	文芸講座	会員・一般市民を対象(有料)
9月	ところざわ倶楽部まつり	基本的には12期の形式を踏襲
11月	定期総会	総会、会員の懇親会
任意	シンポジウム	会員相互の意見交換、サークル・会員の提案テーマ

広報部活動方針(第13期)

広報部長 玉上 佳彦

1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である ① 学習活動の継続
② 会員相互の親睦 ③ 学びを地域に活かす ④ ネットワーク作りを念頭に、ところざわ倶楽部の広報媒体としての広報紙「広場」とホームページにて的確かつタイムリーな情報発信に注力する。

2. 編集体制の強化

- ① 広報担当理事だけでなく、経験豊富な会員やフレッシュな編集メンバーの編集会議への参加により、編集体制の強化を図る。
- ② 特に女性編集委員の増員により、全体の45%を占める女性会員が参加して、投稿しやすい紙面構成とシリーズを増強。

3. 広報紙「広場」

- ① 「戦争と平和！」シリーズのまとめとしてシンポジウムを予定
- ② 広場の情報を検索しやすい「索引」を作成する

4. ホームページ

ネット時代に対応した最新の情報を速やかに提供する媒体として、さらなるコンテンツの充実を図る。

第13期 編集委員(16名)の紹介

氏 名	担 当
佐藤 重松	倶楽部会長／発行責任者
玉上 佳彦	広報部長・HP 担当
西郡 貢	広報副部長・編集長
川上 紀春	広報部理事
岩瀬 真弓	広報部理事
園田 ヒロ子	広報部理事 新任
浪間 扶美子	広報部理事 新任
稲村 洋二	企画編集担当
松崎 晃	企画編集担当
新井 智子	企画編集担当
原田 一成	企画編集担当 新任
大木 美和子	副会長 役員として参加
中原 幹男	総務部長 役員として参加
森野 辰夫	事業部長 役員として参加
池田 新八郎	顧問
八木 雅子	顧問

環境講演会

「深刻な海洋プラスチック汚染・私たちにできることから」



容器包装の3Rを進める全国ネットワーク運営委員長
中井 八千代氏

近年、アホウドリなどの海鳥やウミガメや魚などの海洋生物たちがエサと間違えて食べてしまうマイクロプラスチック（5mm以下のプラスチック）が、生態系に深刻な影響を与えていることが報告され、世界各国が緊急に取り組みを進めていることは周知の事実です。

世界中で毎年 800 万トンを超えるプラスチック類が海に流入し、このままでは 2050 年には魚の量を超えるだろうと予測されており、その 6～8 割は陸域から川を通して運ばれ、ペットボトルやレジ袋等の容器包装の散乱がめだっています。これらは、主にポイ捨てや、自販機横の容器回収箱からあふれた容器類、河原に置きざりにされたバーベキューや花見のごみなどが、風に飛ばされて川に入り、海に運ばれているものです。



講演中の中井 八千代氏

荒川や多摩川等の人口密度が高い地域を通っていく川が流れ込む東京湾は、最もマイクロプラスチック量が多く、東京湾で釣ったカタクチイワシの約 8 割からマイクロプラスチックが検出されています。東京都は、都営の駅のポスターや車内吊り広告で「東京のポイ捨てが太平洋の海ごみになっている！ ごみは持ち帰りましょう」と多くの都民に警告を発してきました

が、一人当たりの使い捨てプラスチック使用量が世界第 2 位の日本では、なかなか進んでいないのが現状です。

さらに日本のペットボトルの出荷本数は年々増加し、2017 年度は 227 億本に上り、リサイクル率は 84・8%。残り 34 億本が焼却や海ごみにもなっていると予測される深刻な状況です。

海に流れ込んだプラスチックごみは 20～30 年でマイクロプラスチックになり、海中の PCB や DDT 等の有害物質を吸着して魚の体内に摂食され、その魚や貝を食べる人間にも影響が出る可能性があると言われています。

マイクロプラスチックの問題は、石油由来のプラスチックを多用する現代の消費社会や、私たちの簡単便利な生活様式に根源的な問題を投げかけるものです。即効性のある解決策はありませんが、めざすべきゴールははっきりしています。すでに、先進的な国々や企業では、使い捨てプラスチックの使用禁止や徹底したプラスチックの回収リサイクルの実現がコミットメントされ、日本清涼飲料連合会も「2030 年までに使用済みペットボトルの 100%有効利用」を目標に掲げました。「マイボトル・バッグを持参する」「簡易包装を選ぶ」「リサイクルできるごみは、分別する」「ごみが風に飛ばされないようにする」「ポイ捨てをしない」など、私たちもゴールに向かって、まずは身近なところから、できることを始めましょう。そして、友人・知人に広めてゆきましょう。

<プロフィール>

中井 八千代

「容器包装の3Rを進める全国ネットワーク」運営委員長。中央環境審議会循環型社会部会 容器包装の3Rに関する小委員会委員。環境カウンセラー。廃棄物資源循環学会評議員・編集委員

「戦争と平和！」
第 17 回**上海でコワイ思いをした**

河登 一郎



私は、昭和 10 年生れ現在 84 歳です。昭和 20 年 8 月 15 日の終戦日には、国民学校 4 年生でした。

当時は、父の仕事の関係で上海に住んでいました。そのころの上海には日本人が多く住んでいて、(兵隊を除いても)

約 10 万人いると云われていました。日本人だけの小学校が 9 校もあり、私が通っていたのは 7 番目にできた「第七日本国民学校」。今でも当時の同窓会を年に 1 回開いています。教科書は内地と全く同じ「文部省検定教科書」を使っていました。強いていえば「副読本」と称して、中国の古典を子供向けに書いたものを使っていたことでしょうか。



1920 年の上海、九江路
インターネットより入手

上海は中国の都市ですから、アメリカの空爆は殆どありませんでした。空襲警報が鳴って庭に掘った防空壕に入った記憶はあ

りますが、被爆の経験はありません。当時の上海は帝国陸軍及び陸戦隊が治安を維持していたので、戦時中も在留邦人が「コワイ思い」をした経験は殆どありませんでした。

唯一、コワイ思いをしたのは、終戦後間もないある日、私たちが住んでいた郊外の日本人集落を数千人もの中国人が襲ってきたことです。

「襲った」とは云っても、道路を埋め尽くしただけで家の中に入り込む等の狼藉はありませんでした。その団地の一角に日本軍の隠匿物資があり、それを狙ってきたらしい。ところが、我が家のお向かいが軍属のお宅で、ご主人は出征してご不在、若い奥さんと子供だけが住んでおり、中国人たちがそこに入ったように見えたの

で、父が(今までの調子で)「その家に入るな」と怒鳴って止めに行ったところ、道にあふれるほどいた中国人が何人も父に殴りかかってきたことがあります。母が必死になって「あなた、家に入って」と云って引き入れ、私たちも固唾を呑んでいました。中国人たちは、その後我が家の 2 階の窓に石を投げてガラスを割ったりはしましたが、乱入したりすることはなく、間もなく中国の警察官がきて群衆を追い払ってくれました。

上海は、終戦後アメリカ軍がすぐに入ってきたことも(ソ連軍が入ってきた満州と異なり)治安が比較的良かった原因だったと思います。上海で私たちがコワイ思いをしたのはこのときだけです。後は引き揚げ時に「自分たちが持てるだけ」しか荷物を持って帰れなかったこと、帰国した博多で DDT を頭からかけられたこと、雑穀で作ったまずいおにぎりが配給されたこと、帰国先の父の出身地(山口県岩国市玖珂)では農業をしていた叔父の家族がおいしいタケノコご飯を作ってくれたことなど、思い出は尽きません。

同じ中国でも奥地(武漢・南京など)や満州・朝鮮にいた日本人は、筆舌に尽くしがたい苦労をされたと聞いています。現代の「戦争」は総力戦になりますから、軍人や兵隊だけでなく、一般の国民も巻き込んで大勢の国民を殺し、経済的にも塗炭の苦しみを強いることになります。戦争は絶対にしてはいけません。とは云っても、国と国の間にはどうしても意見の合わないこともあります。しかし、その場合でも戦争による解決でなく「外交」によって解決せねばならず、そのために「国連」ができたのですが、限られた国が「拒否権」を持っていたり、一部の国の軍事力が強かったり、国連決議に従わないことなどもあって、「公正な」裁きが実現するとは限りません。その結果、現在の世界には全人類を 100 回も殺せるだけの核兵器が存在するという「恐怖の均衡」の下に存在しているのです。

日本は、唯一の核被爆国なので、率先して核兵器廃絶を含む軍縮で世界をリードすべきです。トランプに言われるままアメリカの軍備を爆買いするなど、日本人としてとるべき政策ではありません。

サークル活動報告

シェイクスピアに恋して

ドラマティック・カンパニー
西脇 英夫ところざわ倶楽部まつり
上演中の風景

妻デズデモーナ(ギリシャ語で「悲しい人」の意味だそうです)の貞操を疑い嫉妬に苦しみぬき、妻を刺殺のあと真実を知り、口づけしながら自殺するムーア人の将軍・オセローの悲劇的な物語です。

例会は月2回・2時間。四角に囲んだテーブルのメンバーがドラマの役者になりきって、松岡和子氏訳のセリフに感情をこめて順番に読みます。配役はときに勇名轟くムーア人将軍、ときに貞淑な妻ほかと変わり

9月のところざわ倶楽部祭りでは、オセローを12人で朗読しました。

部下イアゴの奸計にかかり、

ますが各自が役になりきり変身します。

豊富な知識をお持ちの笠松泰洋先生から物語りの要所所で歴史的背景や劇の登場人物間の人間関係の解説があり、作者が仕掛けた伏線やストーリー展開を暗示するかけ言葉への理解も深まり、興味は高まります。

おかげで“ことばは人間の魂”と語るシェイクスピアが作品中で言いたかったことへの理解も進み、今の世にも通ずる人間性の機微に触れることが出来ます。

四大悲劇は既に読了し、現在は「リチャード三世」に取り組んでいます。

回らぬ呂律や台本の小さい活字に人生の秋を感じる昨今ですが、知る喜びに加えて自分の言葉で演ずる楽しみ。また、指導の笠松先生を囲んでの年に数回の食事会と歓談、練習の挙句に全員でやり遂げた発表会の達成感…。これらは、私の嬉しいささやかなドラマです。 Yes, you can! みなさまも 一緒にドーズ。

「懐かしの映画・鑑賞会」活動報告

懐かしの映画・鑑賞会
橋爪 良輔ところざわ倶楽部まつり
上演中の風景

した。映画の魅力は、その時代背景が良くわかる。その当時の服装、町の様子、家庭内の家具、その他懐かしその時代にタイムスリップします。映画はその「時代を映す鏡」です。回数も重ね平成30年4月24日「上映会100回記念」を行いました。上映会も来年早々には130回を超え、140回を数える事になります。また映画だけでなく、日々の忙しさに忘れがちな日本の伝統文化「暮らしを彩る歳時記」を行っています。今年も1月は「まゆ玉飾り」3月は「桃の節句」5

懐かしの映画・鑑賞会の初上映作品は平成24年11月邦画「好人好日」(笠智衆と岩下志麻共演1961年松竹)で

月は「端午の節句の宴」7月「ソーメンパーティー」10月は「十三夜の集い」などイベントを行っています。桃の節句、十三夜の集いの時は皆で「茹でまんじゅう」を粉から手作りし、なんだかんだ言いながら餡を包み、それをやさしく上手に作り、茹でる。これがよく出来とても美味しいと、大好評でした。イベントの日は上映会の後に食事をしながら、少しお酒もいただきながら、演芸を楽しみます。漫談、詩吟、脳の体操、講話歴史その時代の政治について、唄、ハーモニカ演奏、男の舞踊、オカリナ演奏などです。また、調べて頂き「久米の昔と今」のお話等を楽しんでいます。今年もところざわ倶楽部まつりに、和太鼓と踊りで参加して、多くの方に飛び入り参加して頂き、素晴らしい踊りの輪になり大いに盛り上がりました。その他、無声映画の鑑賞会を年に何度か行っています。活動弁士ハルキ(女性)の七色の声と歯切れの良い語り。上映中は新垣 隆のピアノ伴奏。とても素敵です。映画の好きな方一度遊びに来て下さい。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 2922-6420)

12月12日(木)13:30~15:30 中央公民館3階8,9号室
竹内先生講義第4回目「平家物語(実盛)」(最終回)
1月9日(木)中央公民館3階8,9号室 09:30~10:30 総会,
10:30~11:30 ビデオ鑑賞, 12:30~14:30 新年会(梅の花)
1月10日(金)13:30~15:30 及川先生講義「古事記」(4月まで)

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

12月18日(水)14:30~16:30 中央公民館 8,9号室
定例会 松澤会員(日本シンガポール協会理事)による
「シンガポールの昔と今」
1月29日(水) 定例会 小野塚勝俊氏による所沢通信基地への
土砂搬入問題などの報告会

3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

12月18日(水)13:30~15:00 子供と福祉の未来館3F 定例会
フードバンクと「子供の貧困」聴講 講師 黒田 和代 氏
1月22日(水)13:00~15:00 生涯学習推進センター(予定)
定例会(新年度計画相談等)

4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要です)

12月10日(火)「例会」 & 「総会」
レオン・カヴァルロ 歌劇「道化師」
1月14日(火)イル・ディーヴォ ライブ・イン・ジャパン 2018
楽しい音楽を一緒に!!!
いずれも13:15~ 中央公民館3階8・9号学習室

5. 食を通して所沢を知る会 (園田 ヒロ子 090-4005-1882)

12月17日(火)10:00~12:00 ふらっと 総会
来年度の活動計画話し合い・忘年会
1月21日(火)10:00~12:00 ふらっと 定例会

6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

12月17日(火)15:00~17:00 新所沢東公民館 研修室
定例会: ①環境講演会総括、②第13期年度活動計画、③持寄り学習、④DVD「モルゲン、明日」各自鑑賞中、後 忘年会
1月21日(火)9:00~11:00 新所沢東公民館 研修室, 定例会

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

12月8日(日)13:00~17:00 中央公民館
SPチアダンス練習日 懇親会 練習見学大歓迎
1月8日(水)13:15~15:00 中央公民館 1階学習室
定例会 議題: 年間基本方針検討

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

12月10日(火) 柳瀬荘黄林閣散策路整備ボランティア
12月12日(木) 13:00~15:00 新所沢公民館 定例会
12月14日(土) トトロ21号保全作業
12月20日(金) 柳瀬荘黄林閣散策路整備ボランティア
1月11日(土) 陽子ファーム落ち葉掃き

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (小川 雅愛 2907-9476)

12月19日(木)13:30~16:00 新所沢公民館 学習室6号
令和元年(2019)度 定期総会 終了後 懇親兼忘年会(会場未定)
2020年1月 恒例
所沢民俗食文化を知る「地産・地消—さつまいも料理講習&
それを食す」活動 講師 小林先生

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

12月21日(土)10:00~12:00 新所沢公民館学習室2号
シェイクスピア戯曲「リチャード三世」の朗読(輪読) 継続
引き続き場所を移動して忘年会
1月11日(土) 定例会 10:00~12:00 新所沢公民館3号室
1月25日(土) 定例会 10:00~12:00 中央公民館3号室

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

12月10日(火)10:00~12:30 共に西新井町会館
邦画「丹下左膳」(58年) 大友柳太郎・大川橋蔵
⇒年末最後の上映会・上映後のイベント有り
1月28日(火) 新春上映会/蘭玉飾り

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

12月9日(月)13:30~15:30
こどもと福祉の未来館・多目的室4号(3階)
「音楽療法」トークと歌いながら脳活を!
講師・佐井佳代子 氏
16:30~「忘年会」=於・藍屋 今年をふり返り来る年は~

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

12月16日(月)14:00~16:30 新所沢東公民館2号
学習室「公共施設マネジメント問題」2回目と新入会員との
市政討議
1月20日(月) 定期総会 新所沢東公民館
定期総会前に役員会予定(別途連絡)

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

12月20日(金)10:00~13:00 こどもと福祉の未来館
多目的室1号 総会(活動振り返り、来期の活動確認、
(昼食会)「弘法の三ッ井戸」「カヤ湯」「絵で見る昔の所沢」
「滝の城の竜」の読み合わせ
1月17日(金) 定例会 小学校三年生の授業日程調整他

理事会報告 開催日: 11月11日(月)

- ・退任理事、新任理事(候補)を紹介。理事会の持続性を考慮した体制作りを進めていくことを確認した。
- ・会計監査の報告を行い、12期会計報告と13期予算について説明を行った。・総会、講演会の受付要領の確認を行った。
- ・総会の往復はがき案内状は、サークル経由の伝達が可能な会員に対して省略することを9月理事会で了解し、無所属会員と

新入会申し込み者およびサークルの送付要望会員に対して往復はがきを送付した。ほかに、会長名での開催通知書を発行した。

- ・新入会者は、10/29の勧誘会16名。ほかに4名。
- ・理事会後、総会資料を印刷。夕方懇親会を開催した。
- ・11月22日(金)第13期定期総会を開催。地球環境サークルの協力により環境講演会を併催した。

みんなの広場 第19回

地球環境に学ぶ
小野 さとえ

原発をなくしたい！

あれから8年9カ月経過しました。2011.3.11 東日本大震災による福島第一原子力発電所事故です。あの時の驚きと恐怖！！日本中、いえ世界中が恐怖に覆われ、この先何が起こるのかと世界の眼が集中しました。想定外の事態にさまざまな想いが重く人々の心を覆い尽くしました。そんな中、私は原発をなくしたい、若い世代に残すものは原発ではない、原発はあってはならないと強く思いました。しかし、身の回りの事にばかり気を取られる日々を過ごしている間に、一旦はすべて止まっていた日本の原発はどうなっているのでしょうか。

今年7月31日、東京電力は福島第2原発1～4号機の廃止を正式決定し、全国54基あった原発の内21基が廃止されることになり、2019年10月現在、国内で再稼働している原発は7基だそうです。福島原発事故をみて政策転換し、ドイツを始め原発廃止に向かった国々もあります。世界は脱原発に向かっているのに、日本は原発終息の気配は見えません。そして稼働していなくても、冷却するための汚染水はどんどん増え続け、海水温度を引き上げる一因になっていると言われています。これも地球温暖化へ直結しています。しかし、どうすれば良いのでしょうか。毎日不安な思いを抱え、非力な自分を持て余しています。

サークルでは、多くの事を学んでいます。もう待ったなしの緊急問題山積です。皆さん、一緒に学び、考えてみませんか。

むさし野俳句会（令和元年十一月）作品抄



うす青き幹青空へ撫黄葉
よつこらしよ思はず声が布団干す
黒米の穂の活けてあり俳句展
蔓引けば空をゆさぶる烏瓜
慶事あり弔事もありて菊贈
冬ぬくし似てなくもない老姉妹
焼藪を抱えて急ぐ帰り道
衣被婚五十年の鍋焦がす
尺八に小菊一枝茶会席
寒鰯や魚河岸の水進る

高光 泉
利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇

花石路の根締め明りとなりにつけり
冬霞掛け声上がる河川敷
鶉の岬塩屋の岬鯰鍋
天平の琵琶の音澄むや冬霞
流鏑馬の射手は少年天高し
車椅子ゆるり茶の花日和かな
掛大根猫がじやれあふ瀬戸の島
御神木に子の手を添へて七五三
蓑虫を寝かせし風の止みにけり
信号に連なる尾灯暮早し

海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
鈴木 征子

《編集後記》

令和元年の秋は、今上天皇の即位に関する行事が多々あり、祝福ムードに満ち溢れました。中でも国民祭典の中で歌われた「水」をテーマにした奉祝曲「Ray of Water」のなかで歌われた「Journey to Harmony」の歌詞の一部を紹介します。「はじめはどこかの岩かげにしたたり、落ちたひとしずくの水が平野に流れ、やがて研ぎ澄まされ、君をうるおし、鳥たちをはぐくみ、花たちとたわむれ あの大河だってはじめはひとしずく」と水のすばらしさを表現しています。

半面、今年の秋は、台風や大雨の被害が多発し、未だ、避難生活にさらされている方が多数おられます。自然のやさしさと怖さを、これほど肌身で感じた年はなかったと思います。令和の世こそ、自然のやさしさを肌で感じる事が出来る、世の中が続くことを望みます。（西郡 記）

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳〔四十八〕 作品発表 選 中島峯生

課題「質問」

子どもらの質問攻めに若返る
あどけない子供返事みな笑顔
なぜなぜと昔可愛く今憎い
物忘れしない薬はどれですか
思い出す先手を競う老夫婦
訊きたいが答えがこわい訊くの止め

「自由句」

里帰り駅舎を出るともう訛る
冬支度へそくり増やす物価高
てこずるね昔おてんば今は母
あおられて生きてきました会社でも
二人して口だけ達者まだ行ける
外人に取り囲まれて足湯する

突拍子 鼻・鬚 海さとり 鼻・鬚 突拍子
りんご好き 庵閑子 庵閑子 庵閑子
どうし 庵閑子 庵閑子 庵閑子
りんご好き 庵閑子 庵閑子 庵閑子

次回（第49回）課題「持つ」そして「自由句」

締切り日：12月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax04-2928-1161